

問1 日本の選挙制度の変遷について、明治時代と現代を比較した説明として最も適切なものはどれか。なお、明治時代の投票用紙には投票者の氏名や住所を記入する欄があったが、現代の用紙にはそれらが存在しないという点に留意して答えなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）

年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 明治時代は記名投票であったが、現在は誰が投票したか分からない無記名の秘密選挙が徹底されている。 | 2. 明治時代から一貫して無記名投票が行われているが、現在は不正防止のために住所の確認が厳格化された。 | 3. 明治時代は秘密選挙を守るために記名が必要だったが、現在はプライバシー保護のために無記名となった。 | 4. 明治時代は特定の人物への重複投票を防ぐために記名式が採用され、現在もその制度が一部で残っている。 |
|--|---|---|---|

問2 現代の政党政治において、選挙の結果に基づいて議会で多数を確保し、内閣を組織して実際に政治を動かす立場にある政党のことを何と呼ぶか。（2021年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|--------|---------|
| 1. 与党 | 2. 野党 | 3. 公聴会 | 4. 圧力団体 |
|-------|-------|--------|---------|

問3 2017年の衆議院議員総選挙において、20代の投票率は約30%と全年代の中で最も低い数値でした。また、日本の年代別人口の構成を見ると、若年層は中高年層に比べて著しく少ない状況にあります。このような「投票率」と「年代別人口」の差が、民主主義における政策決定にどのような影響を及ぼすと考えられますか。（2020年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政治的反映を受けにくくなる。 | 2. 若年層の人口が少ないため、一人ひとりが持つ一票の価値が法的に高く補正され、若者の意見が通りやすくなる。 | 3. 若年層の投票率が低いため、各政党は若者の関心を引こうと、若者向けの支援政策を最優先で公約に掲げるようになる。 | 4. 男女別の投票率に大きな差がないため、年代を問わずすべての世代の意見が均等に予算配分へ反映される。 |
|--|--|---|---|

問4 日本の選挙制度における課題の一つである「投票率の低下」について、有権者数と投票者数の関係から説明した記述として、正しいものを選びなさい。（2021年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 有権者数に占める実際の投票者の割合が小さくなることで、国民の代表としての議会の正当性が弱まる懸念されている。 | 2. 有権者数の増加に合わせて投票者数も比例して増えることが、民主政治が健全に機能している唯一の指標である。 | 3. 投票率が低下すると、有権者数が統計上減少したとみなされ、一票の格差を是正するための定数修正が行われる。 | 4. 若年層の投票者数が減少しているのは、少子高齢化によって有権者数そのものが大幅に減少していることが主因である。 |
|---|--|--|---|

問5 日本の選挙制度において、比例代表制で議席を配分する際に「ドント式」などの計算方法が採用されている主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 各政党の得票率に応じて議席を割り当てることで、死票を減らし多様な民意を議会に反映させるため | 2. 特定の有力な候補者への個人得票を重視し、個人の人気を直接当選に結びつこうとするため | 3. 小選挙区制よりも当選に必要な票数を多く設定することで、政権を担う大政党を有利にするため | 4. 選挙費用の削減を目的として、得票数の計算プロセスを簡略化し迅速に当選者を決定するため |
|--|--|--|---|

問6 日本における選挙と社会保障のあり方について述べた文として、2016年の参議院議員通常選挙における有権者の意識調査の傾向（18歳～30代は景気や子育てを、60歳以上は医療・介護を重視する傾向）をふまえた適切な説明はどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 1. どの年代においても、最優先される政策課題は景気対策で一致している。 | 2. 若年層ほど社会保障への関心が高く、高齢者層ほど教育支援を重視している。 | 3. 高齢者層は、自身の生活基盤である医療・介護などの社会保障の充実を重視している。 | 4. 18歳から30代までの有権者は、社会保障制度よりも防衛や外交を最も重視している。 |
|--------------------------------------|--|--|---|

問7 ある選挙において、議員1人あたりの有権者数が、A選挙区では約115万人、B選挙区では約24万人となっている統計資料があります。この数値から読み取れる「一票の格差」による問題点として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. A選挙区の有権者の1票は、B選挙区の有権者の1票よりも、政治に与える影響力が小さくなる。 | 2. B選挙区では有権者数が少ないため、A選挙区よりも投票率が著しく低くなる傾向にある。 | 3. A選挙区の方が有権者数が多いため、若年層の意見が反映されやすく、年代別の不平等が起きる。 | 4. B選挙区では議員1人あたりの負担が大きくなり、男女の立候補者数に大きな偏りが生じる。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 明治時代は記名投票であったが、現在は誰が投票したか分からない無記名の秘密選挙が徹底されている。	1889年に制定された衆議院議員選挙法などの初期の制度では、投票用紙に自署する「記名投票」が行われていました。しかし、これでは投票の内容が他人に知られてしまうため、自由な意思表示を妨げる要因となりました。その後の改革により、現在の選挙では氏名を書かない無記名投票による秘密選挙が原則となっています。
問2	答え 1 与党	議会制民主主義をとる国々では、国民の代表である議員が所属する政党を中心に政治が行われます。その中で、行政権を持つ内閣の構成員（大臣など）を出し、予算や法律の案を作成して国政を運営する責任を負うのがこの立場です。一方、政権を担わずに政府の監視や批判を行う政党は野党と呼ばれます。
問3	答え 1 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政治的反映を受けにくくなる。	日本の選挙制度において、特定の年代の投票率が低いことや、少子高齢化の影響で年代別人口のバランスが崩れていることは、政策の優先順位に大きな影響を及ぼします。当選を目指す候補者や政党にとって、有権者の数自体が多く、かつ実際に投票所へ足を運ぶ割合が高い世代の要望は無視できないものとなります。その結果、教育や子育て支援といった若年層向けの政策よりも、医療や年金などの社会保障を重視する高齢者向けの政策が優先されやすくなるという課題が生じています。
問4	答え 1 有権者数に占める実際の投票者の割合が小さくなることで、国民の代表としての議会の正当性が弱まること懸念されている。	投票率とは、有権者数に対する投票者数の割合を指します。民主主義は国民の代表を選挙で選び、その代表が意思決定を行う仕組みですが、投票率が著しく低下すると、選ばれた代表者が「国民全体の意思を代表している」と言い切るための根拠（正当性）が揺らいでしまいます。特に有権者数が増えているにもかかわらず投票者数が減っている近年の状況は、国民の政治離れや、政治に対する信頼の低下を示す深刻な課題として捉えられています。
問5	答え 1 各政党の得票率に応じて議席を割り当てることで、死票を減らし多様な民意を議会に反映させるため	比例代表制は、政党の得票数に応じて議席を配分する制度です。当選に結びつかない票である「死票」が多く発生しやすい小選挙区制に比べ、少数政党であっても得票に応じた議席を得やすくなるため、より幅広い国民の意見を政治に反映させることができます。ドント式は、この配分を数学的に公平に行うための仕組みとして機能しています。候補者個人ではなく政党に対して投票する仕組み（または政党名か候補者名のいずれかを書く仕組み）が一般的です。
問6	答え 3 高齢者層は、自身の生活基盤である医療・介護などの社会保障の充実を重視している。	有権者の投票行動には、それぞれのライフステージにおける関心事が強く反映されます。高齢者層にとって医療や介護は日々の生活を支える不可欠なサービスであるため、これら社会保障分野の維持・充実が、景気対策や子育て支援よりも高い優先順位で捉えられるのが一般的です。このような年代によるニーズの違いは、各政党の選挙公約（マニフェスト）の策定にも大きな影響を与えています。
問7	答え 1 A選挙区の有権者の1票は、B選挙区の有権者の1票よりも、政治に与える影響力が小さくなる。	議員1人を選出するために必要な人数が多い選挙区ほど、有権者1人が持つ「1票」の割合的な価値は小さくなります。このケースでは、B選挙区の有権者の票はA選挙区の約4.8倍の価値を持っていることになり、憲法が求める平等な選挙の原則に反する可能性が高まります。